



第一管区海上保安本部では、オホーツク海やその周辺海域で海氷が発生する海域を航行する船舶の海氷海難を防止するため、例年12月20日頃に「海氷情報センター」を設置して海氷の分布状況を集約、分析・整理して海氷情報として船舶等に提供しています。

海氷情報センターは、昭和45年（1970年）3月に択捉島の単冠（ひとかつぶ）湾にて発生した漁船の集団海氷海難を契機に同年12月に開設されたもので、今シーズンで50年目を迎えます。これを記念して下記のとおり講演会・パネル展示を開催することとしました。

■日時 令和元年12月11日（水）14：30～16：50

■場所 北海道大学学术交流会館

札幌市北区北8条西5丁目 JR札幌駅より徒歩約7分、地下鉄北12条駅より徒歩約7分

※ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

講演会：講堂

パネル展示：ホール

■主催 第一管区海上保安本部

■共催 一般財団法人日本水路協会

■プログラム

開会の挨拶 14：30～14：35

基調講演 14：35～15：00

「海氷情報センター50年のあゆみ～これまでの海氷観測を振り返って～」

第一管区海上保安本部海洋情報部長 小西 直樹

特別講演

I 15：00～15：30

「海洋情報提供の新時代 — 海洋状況表示システム“海しる” —」

海上保安庁海洋情報部長 加藤 幸弘

～ 休憩 ～

II 15：45～16：15

「北太平洋の海洋循環・物質循環を駆動するオホーツク海」

国立大学法人北海道大学低温科学研究所 教授 大島 慶一郎

III 16：15～16：45

「宇宙から見た海氷観測」

国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター長 平林 毅

■パネル展示 海氷関係のパネル展示

■特別講演者 プロフィール

I 海上保安庁海洋情報部長 加藤 幸弘

昭和62年海上保安庁水路部（現海洋情報部）に入庁。

海洋調査部門を経験した後、海洋調査課長を経て、海洋情報課長に就く。

平成28年海上保安庁海洋情報部技術・国際課長を経て、

平成30年4月より現職。

II 国立大学法人北海道大学低温科学研究所 教授 大島 慶一郎

北海道大学低温科学研究所助手を経て、2008年より現職。専門分野は海洋物理学、極域海洋学。

南極海やオホーツク海などの極域・海氷域の海洋を研究対象とする。

日本学術振興会学術システム研究センター研究員を兼任。理学博士。日本海洋学会、日本気象学会。

平成30年8月に第11回海洋立国推進功労者海洋功労者表彰を受賞。

III 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構第一宇宙技術部門 衛星利用運用センター長 平林 毅

ロケットの打上げ部門を経験した後、政府系の衛星開発プロジェクト、経営企画部門、準天頂衛星に係る

衛星測位システム技術室長、GOSAT-2プロジェクトマネージャー（2018年10月29日打上げ）

を経て、2019年11月より現職。